

# 研 修 報 告 書

令和 8 年 8 月 7 日

松阪市議会議長 濱口 高志 様

報告者 松阪市議会議員 田中正浩

## 1 研修の概要

- (1) 研修名 「数字に強い議員になる・決算審査と財政の基本」
- (2) 受講日 令和 8 年 7 月 25 日（土曜日）午前 10 時から午後 4 時まで
- (3) 開催場所 リファレンス名古屋栄 貸会議室ナディアパーク  
名古屋市中区栄三丁目 18 番 1 号ナディアパーク 9F
- (4) 主催者 地方議員研究会
- (5) 講師 黒瀬雄大 氏

## 2 研修の目的

決算審査に必要な財政の基礎知識と決算関係書類資料の読み方を習得し自治体財政状況や事業の成果を適切に検証する力を高めるとともに、その成果を次年度の予算審査、政策提言及び一般質問につなげる実践的な手法を学ぶことを目的として受講した。

### 3 研修内容

#### (1) 決算審査の基本的な役割

決算審査は、単に前年度の支出内容を確認するためのものではなく、事業の成果や課題を検証し、その結果を次年度の予算編成や政策改善につなげるための重要な議会活動であることを学んだ。また、予算審査がこれから行う事業の必要性や妥当性を判断するものであるのに対し、決算審査は実施済みの事業について、目的の達成度、効果及び改善点を検証するものであるとの説明を受けた。

#### (2) 決算関係資料と財政指標の読み方

歳出決算書、主要施策成果説明書及び決算カードの基本的な読み方について学んだ。自治体財政は、単に決算が黒字であることだけをもって健全と判断するのではなく、経常収支比率、実質公債費比率、将来負担比率などの財政指標に加え、基金残高及び地方債残高の推移を複数年度にわたって確認し、総合的に判断する必要がある。

また、夕張市の財政破綻を題材として、財政状況が悪化する過程で決算書や財政指標のどこに危険信号が現れるのかを学び、数値の背景にある財政運営上の課題を読み取ることの重要性について理解を深めた。

#### (3) 事業成果と費用対効果の検証

決算審査では、支出額や前年度との増減だけでなく、事業の目的、対象、実施内容、成果指標及び費用対効果を確認することが重要である。特に、成果指標や KPI を確認せず支出額だけを追う質問、基金の増減だけで財政判断を行う質問、他自治体との比較を

せず自らの自治体だけで評価する質問などは、政策改善につながりにくいことが具体例を通して示された。

#### **(4) 決算質疑の組み立て方**

『前年より増えた、減った』『不用額や繰越額が発生した理由は何か』と確認するだけで終わらず、事業の目的が達成されたのか、市民にどのような効果があったのか、課題を次年度にどのように改善するのかまで聞き切ることが重要であると学んだ。あわせて、委員会で活用できる決算質疑メモの作成方法、答弁を踏まえた深掘り質問の組み立て方について説明を受けた。

#### **(5) 次年度予算及び一般質問への活用**

決算審査で明らかになった課題をその場限りにせず、次年度の予算要望や予算審査、さらには一般質問へとつなげる実践的な手法を学んだ。決算審査を過去の確認にとどめず、将来の施策を改善するための起点とすることが議員の役割であるとの認識を深めた。

### **4 所感**

今回の研修を受講し、決算審査は単に支出が適正であったかを確認するだけでなく、その事業によってどのような成果が得られたのかを検証し、次年度の予算や政策の改善につなげるための重要な機会であることを改めて認識した。

これまで決算書を見る際には、前年度との増減や不用額、基金残高などの数字に目が向きがちであった。しかし、一つの数字だけで判断するのではなく、複数年度の推移、各種財政指標及び他自治体との比較を通じて、財政運営の実態を多角的に捉える必要があると感じた。

特に、事業費をいくら使ったかという支出の確認にとどまらず、事業の目的が達成されたのか、市民にどのような効果があったのか、費用に見合う成果が得られたのか、課題を次年度にどのように改善するのかまで確認することが、議員に求められる決算審査であると理解した。

今後の決算審査では、決算カードや財政指標を積極的に活用し、本市の財政状況を継続的かつ客観的に分析するとともに、各事業の成果指標や費用対効果を確認していきたい。また、決算審査で得た論点を予算審査、政策提言及び一般質問へつなげ、市民にとってより効果的で持続可能な行政運営に生かしていきたい。

以上